

(別添4)

## 【河北町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「第2次河北町教育振興計画（改訂版）」（計画期間：令和4年度から令和8年度）において、ICT機器を活用した授業づくりの推進、ICT機器及び関連する環境の整備等が掲げられている。ICT活用を通じて個別最適な学びを促進し、児童生徒が自ら学び、自ら考える力、変化する社会に対して自立する力を育成し、本町教育の基本目標である「ふるさとに学び、互いに高め合いながら、いきいきと未来をひらく人づくり」の実現を目指す。

#### 2. GIGA第1期の総括

本町では、国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度から町内全ての小中学校で1人1台端末を導入し、通信ネットワークの構築やクラウドサービスの積極的な活用等、GIGAスクール構想の実現に向けて必要な環境を整備してきた。併せて、端末の不具合対応や年度更新等をサポートし円滑な運用を図るため、GIGAスクール運営支援センター事業による「タブレット端末等運用支援業務」を整備するとともに、ICT機器・学習支援ソフト等の活用促進や、授業支援・研修会の実施等、ICT活用を支援する「ICT支援員」を学校に配置し、学習活動のサポートを充実させた。

一方で、端末の活用状況については、学校や学級、教科ごとにICTスキルに差があり、活用の伸びしろはまだまだある。また、通信環境や端末のスペックの問題、教職員の指導スキル向上に関する支援の必要性も明らかになった。

これらの成果と課題を踏まえ、第2期ではより効果的な活用を目指して、具体的な取り組みを進める必要がある。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

##### (1) 1人1台端末の積極的活用と個別最適・協働的な学びの充実

毎年度、教職員一人ひとりがICT活用の目的を理解し、ICT活用指導力を向上できるように、計画的・定期的に研修を実施する。また、ドリル学習ソフトや授業支援ソフトの活用促進、AIドリル等の導入検討を行い、個別最適・協働的な学びが実現するよう環境を整える。

##### (2) 学びの保障

端末が故障した場合でも、予備機の運用及び速やかな修繕を実施する体制を継続し、1人1台の端末環境を維持する。また、児童生徒の心身の状況把握を行うために端末を活用した「心の健康観察」の実施や、希望する不登校児童生徒へ端末を活用した教育相談等、実態に応じた学びの保障を行っていく。